

きちんとしたお店に修理依頼していますか？ [組合員事業周知のためのチラシを作成]

山梨県自動車車体整備協同組合（市川清理事長 組合員 76 名）は、県民向けに組合員企業が行う事業紹介のためのチラシを作成した。組合は交通事故などで損傷した自動車の車体を修復する自動車車体整備を行う事業所により組織され、それぞれの事業所で行う「修理の品質」が、顧客との信頼関係構築やリピーターを獲得するために求められる。そこで自社の抱える顧客や、新たに仕事を受ける顧客に対し、自社が行う作業内容と自社の強みを周知するためには効果的なPRツールが必要と考えチラシの作成に至った。作成には中央会の取引力強化推進事業を活用した。

自動車を運転する際の安全を確保する技術は日々進化し、事前に事故を回避し被害軽減を可能とするレーダーやカメラといった先進安全装置を搭載するASV（先進安全自動車）の普及が進んでいる。反面、ドライバーが事故を起こしてしまった際の車両の修理時に、レーダーやカメラがついたバンパー類の脱着、フロントガラスの交換、フレームの修正などの作業後には、先進安全装置が正しく作動するかの確認作業が必要となり、法改正によりこれを行うためには国の認証事業者でな

ければならなくなってきた。組合では認証を取るための教育研修事業を開催しており、組合員の多くは認証事業者として修理の品質と共にお客様（ドライバー）が安心・安全に運転ができるための技術を持っている。今回作成したチラシは認証事業者の必要性や、組合員事業所には安心して修理を任せられることを

コンセプトに制作を行っており、組合員からはでき栄えに高い評価と効果を期待する声もきかれた。

市川理事長は「今後は国内の人口減少や事故を起こしにくい自動車の普及が進み、業界は厳しい状況になると思われるが、このチラシを活用して組合員各社が自分のお店のPRや強みを発信し、信頼される事業所になってもらいたい。」と意気込みを語った。

山梨県自動車車体整備協同組合



作成したチラシ

